

平成 23 年度 日野市立図書館の
運営の状況に関する評価書
(平成 22 年度事業)

くらしの中に図書館を

—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 23 年 9 月

日野市立図書館

1 はじめに

国は行政機関が行う政策を客観的かつ厳正に評価を行い、その結果を政策へ適切に反映を図るとともに、政策の評価に関する情報を公表し、効果的かつ効率的な行政の推進に資することなどを目的に、平成 14 年 4 月、「行政機関が行う政策の評価に関する法律」を施行しました。また、「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」(平成 18 年 8 月 31 日、総務省) などでは、行政組織運営全般について、住民の意見を反映する仕組みを整えた上で、P D C A サイクル (※) に基づく、事務事業の検証を求めています。

日野市では、これら国の動きや第 4 次日野市基本構想・基本計画「日野いいプラン 2010 ともに創りあげるまち」に基づき、平成 16 年度に行政評価制度を導入しました。しかし、市全体の中での評価では、個別具体的な図書館運営に関する評価が上手く成されていないのが実情でした。

「これからの図書館像 地域を支える情報拠点をめざして」(平成 18 年 3 月、文部科学省 これからの図書館の在り方検討協力者会議) でも図書館サービスの評価を実施し、公表、活用することを示しています。さらに、平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること。また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

※P D C A サイクルとは、計画 (P l a n) を実施 (D o) し、評価 (C h e c k) して、改善 (A c t) に結びつけ、その結果を次の計画に生かす (フィードバック) プロセスをいいます。

2 評価の目的

図書館の取組事業の目標・手法・成果などをしっかりと把握した上で、図書館の運営の状況に関する評価を市民参画（図書館協議会）で実施することにより、取組事業を振り返り、そして、見直しを行い、効果的かつ効率的で、市民に信頼される図書館運営を推進するものです。さらに、市民にこれらの情報をありのままに公開することにより、「市民に開かれた図書館」にとどまらず、「市民とともに作り上げる図書館」を目指します。

3 図書館の現状

(1) 施設 ※平成 23 年 4 月現在

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書規模
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48. 4. 28	豊田 2-49-2	247 千冊
移動図書館	1 台 (20 駐車場)	昭和 40. 9. 21	同上	28 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55. 5. 11	三沢 4-1-12	86 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55. 5. 18	日野本町 7-5-14	49 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16. 4. 1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	100 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20. 4. 5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	50 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52. 12. 1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	42 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2. 11. 16	百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階	64 千冊

(2) 組織・職員 ※平成 23 年 4 月現在

1 課 3 係（庶務整理・業務・奉仕）、6 分館

職員 41 人（うち司書 29 人）、

再任用職員（週 31 時間勤務）3 人（うち司書 1 人）

嘱託職員・臨時職員（週 30 時間換算）35 人

(3) 主な業務

- ・ 図書館資料の収集、整理及び保存
- ・ 個人貸出、団体貸出
- ・ 読書案内及び読書相談
- ・ レファレンス
- ・ 読書会、研究会、講習会、鑑賞会、映写会、展示会等の主催及び奨励
- ・ 館報その他の読書資料の発行及び頒布

- ・ 図書館資料の図書館間相互貸借
- ・ 市内の学校図書館への資料提供と協力
- ・ 地方行政資料の収集及び提供

4 図書館の評価方法

(1) 評価方法

- ① 評価対象事業について、図書館としての自己評価を、図書館協議会に提出する。
- ② 図書館協議会委員の評価・意見を加えて、図書館評価報告書としてまとめ、日野市教育委員会に報告する。
- ③ 市民に公表する。

(2) 評価を行う取組事業

「日野市立図書館基本計画」の重点的な取り組みや文部科学省が提示する「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準 平成13年7月18日文部科学省告示」（以下「望ましい基準」と略）から抽出した、下記取組事業について評価を行うこととします。

- ① すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります（児童・青少年サービス）
- ② すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります（成人・高齢者サービス）
- ③ すべての利用者への基本的なサービスの一層の向上を図ります（障害者サービス）
- ④ 資料の選択・収集及び資料提供を核とする図書館の基本を大切にします
- ⑤ 時代に合わせて既存施設の改修を進めます
- ⑥ 関係機関との連携・協力の強化を図ります
- ⑦ 各館での取り組み

5 評価の結果

図書館の自己評価および図書館協議会からいただいた評価・意見等は、評価表1～7のとおりです。

6 今後の課題

この評価を基に 22 年度の成果をあげた取組みを継続するとともに、「図書館基本計画」（計画期間 19 年度～23 年度）に抛り、今後の課題の解決に取り組みます。また、24 年度に「第二次図書館基本計画」（計画期間 24 年度～28 年度）を策定する予定です。

資料を提供する図書館の役割から、サービスを維持・発展させるには豊富で魅力ある資料が必要です。来館者調査においても図書館に対する重要度の一・二位は「本や雑誌の質・量」です。「望ましい基準」でも新規図書が割合が指標とされています。年々減少傾向にある図書費の確保が必要です。同時に魅力ある資料や日野市に関する資料を永く保存・提供するには資料の保存スペースの確保への取組みも必要です。

子どもたちへの読書活動の推進は、図書館の大きな役割です。22 年度策定した「第 2 次日野市子ども読書活動推進計画（計画期間 22 年度～26 年度）」に基づき、子どもの読書活動をさらに推進します。

老朽化した中央図書館・高幡図書館・百草図書館・日野図書館などの施設・設備の改修に取り組んでいきます。

音訳・点訳などの有償ボランティアをはじめ、日野宿発見隊・ひの写真散歩や図書館業務を応援するボランティア活動の機会を拡げ、市民と共に歩む図書館を目指します。

図書館事業評価表 22年度

事業No.	1
事業担当係	業務係・児童奉仕グループ
記入者氏名	星 まゆみ

1. 取組事業名

取組事業名 (図書館基本計画から)	すべての利用者への基本的サービスの一層の向上を図ります (児童青少年サービス)	事業開始年度	昭和 40 年度
----------------------	--	--------	----------------

2. 取組事業の概要

取組事業の概要(事業の対象者、内容を市民にも分かるように簡潔明解に記載)

事業の内容	<p>「図書館基本計画」「日野市子ども読書活動推進計画」に基づきサービス、資料の充実に努める。</p> <p>1 乳幼児サービス) ①乳幼児が本を手にとったり、読んだりしやすいよう工夫する。②乳幼児が集まる施設でおはなし会の開催がスムーズに行われるよう図書館員がサポートする。③保育園・幼稚園への団体貸出を拡充④保護者・保育関係者からの読書に関する相談の受け付けや講座等を充実する。</p> <p>2 児童サービス) ①児童の調べものに必要な資料を整える。特に、地域について調べる資料を図書館が作成する②児童への読み聞かせなど、子どもの読書にかかわる活動を引き続き支援する。③日本語を母語としない児童、海外帰国児童に外国語資料を提供する。</p> <p>3 青少年へのサービス) ①図書のコナーを設け資料を充実させる。②青少年がコナーの運営に関わる機会を設ける。③資料・情報提供により、青少年の就業を支援する。</p>
-------	---

事業目的(当該事業を将来的にはどのような事業としていきたいのか、どのような成果を求めていくのか)

・児童の読書離れが進む(児童登録率の低下)一方で児童図書の貸出冊数は増加。読む人は、一層多読となり、読まない人は全く読まないといった二極化を呈している。今後は更に、学校、児童関連施設、地域などと連携した子どもの読書活動を拡充させる。

22年度の事業目標(どのような目標を設定したのか)

<p>①中央・高幡・多摩平・百草図書館で「おはなし会」を毎月1~3回行う</p> <p>②「あたらしい本」(新刊児童書リスト)を年1回以上発行する</p> <p>③要望に応じて出張おはなし会・小学校訪問を行う</p> <p>④夏休みジュニアスタッフ事業を行う</p> <p>⑤日野宿こども発見隊事業を行う</p> <p>⑥児童図書を充実する</p> <p>⑦児童図書の貸出冊数を増やす</p> <p>⑧ヤングスタッフ事業を行う</p> <p>⑨「絵本読み聞かせ入門講座」を開催する</p> <p>⑩「第2次日野市子ども読書活動推進計画」を策定する</p>	<p>22年度の事業成果(当該年度の実績数値など)</p> <p>①「おはなし会」…87回、延べ1,846人 ②テーマ図書リスト…1回発行、500部 ③出張おはなし会…28回 小学校訪問…15校 47ｸｽ ④夏休みジュニアスタッフ事業…延べ33人 ⑤日野宿こども発見隊…4回 延べ401人 絵本発行3,000部 ⑥児童図書年間受入冊数 7,122冊(年間除籍冊数 10,980冊、蔵書冊数 150,954冊) ⑦児童図書・雑誌の貸出…466,541冊 移動図書館車による団体貸出16,464冊 保育園幼稚園への配本延べ 34回 1,700冊 学校搬送業務 延べ 259回 10,396冊 ⑧ヤングスタッフ事業 講演会1回 「坂木司パンフ」作成など ⑨「絵本読み聞かせ入門講座 2回 29人 ⑩「第2次日野市子ども読書活動推進計画」の策定完了</p>
---	--

事業の課題・問題(事業の目的や目標と現状とのギャップを記入します)

学校図書館支援・子ども読書活動推進用図書予算は年々減少傾向にあったが、今年度は各10万円増額の220万円。内訳は多摩平図書館ヤングコーナー用図書、幼稚園保育園用配本図書ほか。年々増加する小中学校からの貸出し依頼に充分答えられる蔵書構成を行うため、選書にはより一層力を注ぎ、出版社を招いての図書の展示会を開くなど内容を充分検討した上で購入を決定する。

3. 事業費の推移(円)

項目		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度事業費の決算の内訳
支出	事業費	29,211,905	31,097,276	26,242,817	・嘱託職員報酬 ・図書費 ・学校図書館支援事業経費 ・子ども読書活動推進支援経費 ・第2次日野市子ども読書活動推進計画事業費 ・地域ぐるみの子どもの読書活動推進事業委託料
	職員人件費(1人888万円)	78,144,000	76,368,000	76,368,000	
収入	国支出金		1,945,000	1,537,000	
	都支出金			0	
	使用料・手数料等(受益者負担額)			0	
	その他特定財源			0	
一般財源		107,355,905	105,520,276	101,073,817	
総事業費		107,355,905	107,465,276	102,610,817	

当該事業に要する職員の業務量(人)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成22年度課の職員数(課長・臨時職員除く)
	8.8	8.6	8.6	38

4. 指標・コスト

活動指標(アウトプット)目標・実績Ⅰ (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指標	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	児童図書貸出数	冊	440,000	448,800	459,781	21年度へ-ス	2.4%
実績値 (B1)		冊	431,110	448,567	466,541	21年度へ-ス	4.0%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	98	100	101	市民1人当たりのサービス経費 (円)	
単位コスト	事業単価	円	249	240	220	事業費	585

活動指標(アウトプット)目標・実績Ⅱ (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指標	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A2)	児童登録率	%	25.52	25.52	25.52	21年度へ-ス	0.0%
実績値 (B2)		%	24.86	24.23	25.31	21年度へ-ス	4.5%
達成度 (C2=B2/A2×100)		%	97	95	99		
単位コスト	事業単価	円	—	—	—		

成果指標(アウトカム)目標・実績 (当該事業の目的としている成果指標の目標や実績を数値で表します)							
区分	成果を計るための指標	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (D)						21年度へ-ス	
実績値 (E)						21年度へ-ス	
達成度 (F=E/D×100)		%					
単位コスト	事業単価	円					

5. 自己評価

自己評価	事業目的に対する効果	<input type="checkbox"/> 非常に大きな効果があった <input type="checkbox"/> 限定的な効果があった	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな効果があった <input type="checkbox"/> 効果がなかった
	事業の効率性	<input type="checkbox"/> 非常に効率が良い <input type="checkbox"/> やや効率が悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 効率が良い <input type="checkbox"/> 効率が悪い
	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 維持・継続	<input type="checkbox"/> 見直して拡大・充実 <input type="checkbox"/> 見直し
	評価意見等	・第2次日野市子ども読書活動推進事業として、乳幼児の保護者・保育者を対象とした「わらべうた」の連続講座、小学生及び小学校教諭・児童館職員を対象とした「アニメーション」講演会を実施し、好評を得た。 ・平成21年度に実施された文部科学省の子ども読書スクラム事業をさらに発展させ、青少年が同世代に薦めたい図書のテーマ別リスト作成・図書の展示・編集者を招へいして講演会を実施し、青少年に向けての読書活動を展開することができた。 ・日野宿子ども発見隊事業において、身近な地域を知るための絵本「ひのっ子日野宿発見」が刊行され、同時に地域に関する情報をホームページから発信し、学校におけるICT教育と地域学習をつなぐきっかけを作ることができた。 ・第2次日野市子ども読書活動推進計画を策定し、関係部署との連携をさらに進めた。	
次年度以降の取組み	・「日野市立図書館基本計画」や「第2次子ども読書活動推進計画」に基づき、引き続き子どもたちの読書活動を図書館が中心となって推進する。 ・「第2次子ども読書活動推進計画」の進捗状況を把握する。 ・乳幼児施設への配本サービスを拡大・充実させる。 ・学校における読書活動や調べ学習の相談に応じ、学校搬送便を使って図書館資料を提供する。		

6. 図書館協議会評価・意見

評価	・人的・設備的・財政的制約下において様々な努力がなされ、児童図書の貸出数・登録率も増加しており、概ね評価できる。
意見	・学校・児童関連施設等と連携して各種事業を進めることにより、子どもが読書に興味を持ち、自発的に公共図書館も利用していっそう読書を深めることができるようにしてほしい。 ・地域の歴史を学ぶよい機会となった日野宿子ども発見隊のような事業を各分館でも企画できないか。 ・「おはなし会」等直接子どもに働きかける活動は、市内の文庫グループ、ボランティアグループ等や中・高・大学生による“ヤングスタッフ”を活用して推進したほうがよい。図書館は、読書活動推進のセンターとして、それらの活動支援や連絡調整の役割を充実させるべきではないか。

図書館事業評価表 22年度

取組事業名

取組事業名 (図書館基本計画から)	各館での取り組み	事業開始年度	昭和 40 年度
----------------------	----------	--------	----------------

1. 中央図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績Ⅰ (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)

区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	447,290	363,470	352,307	21年度 ^へ -	-3%
実績値 (B1)	数	冊	339,299	343,714	338,307	21年度 ^へ -	-2%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	76	95	96		

22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①テーマによる展示を行い、書庫の資料を活かすとともに、市民の読書意欲を喚起する。
- ②商用オンラインデータベースを市民が使える環境を整備する。
- ③中央図書館内に休憩スペース(飲食可)を設け、長時間滞在利用する市民の快適性を高める。

22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①テーマによる資料展示6回と通年で障害者サービスのPR展示をした。東日本大震災発生直後に緊急ミニ展示「災害と情報」を行い、市民生活に直結した情報を提供した。
- ②官報、判例、新聞記事のオンラインデータベース検索用パソコンをレファレンス室に設置し市民に開放した。
- ③中央図書館2階に休憩スペースを設置し、長時間滞在する利用者も館内で飲食が可能になった。

2. 高幡図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績Ⅰ (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)

区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	349,820	338,350	334,263	21年度 ^へ -	-1%
実績値 (B1)	数	冊	315,846	326,110	332,116	21年度 ^へ -	2%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	90	96	99		

22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

- ①大きな文字の書架表示の作成
- ②書庫スペースの整備・拡大

22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

- ①大きな文字での案内を表示し、各分野の書架が一層わかりやすくなった。
- ②木製書架を新たに設置し収容冊数を増やす事で書庫としての機能がさらに向上した。

3. 日野図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績Ⅰ (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)

区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	241,290	244,730	246,555	21年度 ^へ -	1%
実績値 (B1)	数	冊	228,456	240,541	247,631	21年度 ^へ -	3%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	95	98	100		

22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)

独立行政法人国立青少年教育振興機構からの委託事業となった「わがまちの歴史絵本をつくる」ために、日野子ども発見隊事業実行委員会をたちあげ、地域ぐるみで絵本を刊行すること。

22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)

6月に学校・PTA・商店会・地元住民と一緒に日野子ども発見隊を結成。まちを調べよう・昔の話を聞く会・学校への出前授業の活動を実施し、1月31日絵本「ひのっ子日野宿発見」を刊行、学校・地域へ配布

4. 多摩平図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績 I (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	464,360	468,060	484,172	21年度 ^へ -ス	3%
実績値 (B1)	数	冊	436,927	472,363	475,976	21年度 ^へ -ス	1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	94	101	98		
22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
ヤングに対するサービス、中でもヤングスタッフ事業を成功させる。				講演会開催 (1回)。ヤングスタッフお薦め図書リスト作成 (4回)。作家に関する図書リスト作成及び展示会を行い、青少年読書活動を一層推進した。			

5. 平山図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績 I (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	43,720	145,700	151,942	21年度 ^へ -ス	4%
実績値 (B1)	数	冊	136,009	148,236	150,970	21年度 ^へ -ス	2%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	311	102	99		
22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
ブラウジング・コーナーを含む図書館エリアについて、快適な滞在を促進する。				空調、室温管理、照明、机・椅子のレイアウト変更などの室内環境に十分配慮することにより、来館者のさらなる増大を図った。			

6. 百草図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績 I (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	144,580	139,110	143,832	21年度 ^へ -ス	3%
実績値 (B1)	数	冊	129,858	140,324	138,983	21年度 ^へ -ス	-1%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	90	101	97		
22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
前年度、未実施の南側窓ガラスに大きな名称表示を行う正面玄関前脇の壁に空きが残っているので、利用案内を追加表示し、再度、新規登録者の増加を図る。				窓ガラスに大きな図書館名称表示は、今年度も未実施。正面玄関前脇に利用案内表示は少量の作成に留まった。計画停電による休館があったため、登録者数による評価は出来なかった。			

7. 移動図書館

活動指標(アウトプット)目標・実績 I (当該事業の活動量の目標や実績を数値で表します=参加者数など)							
区分	活動量を計るための指	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比較 (%)	
目標値 (A1)	資料貸出冊	冊	21,130	21,440	24,424	21年度 ^へ -ス	14%
実績値 (B1)	数	冊	20,017	23,828	23,228	21年度 ^へ -ス	-3%
達成度 (C1=B1/A1×100)		%	95	111	95		
22年度の事業目標 (どのような目標を設定したのか)				22年度の事業成果 (当該年度の実績数値など)			
<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館車書架の見出しを見やすいものにする。 百草台児童図書館所蔵資料を整理し、保存すべきもの、リサイクル資料として配布するものに仕分ける。 				<ul style="list-style-type: none"> 見出しの作成をほぼ終了した。 百草台児童図書館所蔵資料のリサイクル資料を市内幼稚園5団体・保育園14団体・学童クラブ19団体に配布した。 			

8. 図書館協議会意見

意見	<ul style="list-style-type: none"> 各館において地域・条件に見合った努力がなされていることは評価できる。 図書館来館者以外へのきめ細かなサービスを進めるため、移動図書館車の増車にも配慮してほしい。
----	---

「貸出活動上位の公立図書館における整備状況」の数値

人口段階	10～30万人(A)	日野 22年度(B)	日野 21年度	指数比 (B/A)	注記
平均人口	140,800	175,262	174,572	124%	
延床面積 m ²	5,437	6,167	6,167	113%	
蔵書冊数	547,353	747,432	738,003	137%	
開架冊数 (内数)	335,203	560,000	560,000	167%	概数
開架に占める新規図書比	10.90%	6.26%	6.42%	57%	
視聴覚資料点数	18,809	4,482	4,222	24%	
年間購入雑誌数	615	1,028	1,089	167%	
資料費 (千円)	74,629	56,748	61,697	76%	
人口一人概算(円)	550	324	353	59%	
人口一人年間貸出点数	10	9.83	9.80	98%	
職員数	53	79	77.4	149%	非正規職員含む
うち有資格者	25	28	28	112%	

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（図書館法第18条の規定に基づき、平成13年7月18日告示（文部科学省告示第132号））の告示にあたり、平成12年12月「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について（報告）」生涯学習審議会社会教育分科審議会計画部会図書館専門委員会の参考資料として示された。

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

《図書館協議会委員名簿》

委員長	大杉 宏光	社会教育委員
副委員長	紺野 順子	実践女子大学講師
委員	阪田 幸子	夢が丘小学校校長
委員	坪島 尚	公募市民
委員	長谷川 成海	日野市 PTA 協議会副会長
委員	平井 周子	日野市国際交流協会理事
委員	森 公子	公募市民
委員	山口 久夫	公募市民

平成 23 年度 日野市立図書館の
運営の状況に関する評価書

(平成 22 年度事業)

くらしの中に図書館を

—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 23 年 9 月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田二丁目 49 番地

電話 042-586-0584